

（仮称）墨田区移動等円滑化促進方針（マスタープラン）及び バリアフリー基本構想の策定に向けた方針について

1. 基本理念及び基本方針

墨田区の今後のバリアフリー化を図る際の基本理念及び基本方針は、墨田区基本計画、墨田区都市計画マスタープラン及び墨田区地域福祉計画等の関連計画との整合、並びに区民アンケート調査等の基礎調査から得られた情報を踏まえて、以下のように設定し、取り組むこととします。

〔墨田区交通バリアフリー基本構想（平成 16 年 6 月）〕

基本理念

だれもが移動しやすく、安全で安心な、
ふれあいのあるバリアフリーのまちづくり

基本方針

ユニバーサルデザインの視点に立ったバリアフリー化の推進
区民や当事者等の参画・協働により、身近に感じられるバリアフリー化の推進
墨田区民の優しさがあふれるバリアフリー化の推進

●基礎調査の結果

- ・誰かを頼らないと外出できないのを前提としてあきらめがちになってしまうが、一人でも外出してやりたいことを実現でき、楽しくいきいきと暮らせるといい。
- ・支援を必要とする方が地域にいることを知り、互いのコミュニケーションが増えることによって、心のバリアフリーの意識醸成につながる。
- ・歩行者空間や歩道の自転車通行に課題を感じている人の割合が多い。
- ・障害者差別解消法における合理的配慮の認知・取組が不十分である。
- ・道路や施設の管轄・境界によってバリアフリールートが寸断される。
- ・バリアフリー対応済みの施設の整備内容に不満が示されることがある。
- ・外出前に施設やルートの情報を事前に調べる人が多い。

●墨田区基本計画における政策

- ・区民が安全・快適・便利に暮らし、人々の交流が生まれ、移動しやすいまちをつくる
- ・障害者が地域のなかで輝いて生きるしくみをつくる
- ・墨田区都市計画マスタープランにおける主要推進プロジェクトの方針等
- ・墨田区地域福祉計画における情報バリアフリー及び心のバリアフリーの推進等

〔（仮称）墨田区移動等円滑化促進方針及びバリアフリー基本構想〕

基本理念（案）

だれもが自由に出かけられ、互いに助けあい思いやるまち

基本方針（案）

区民の心のバリアフリーの推進

- ・学校や社会教育活動と連携した教育啓発の実施
- ・支援を必要とする方との交流の機会創出
- ・広報等による周知啓発

ソフト面のバリアフリーの推進

- ・障害者差別解消法における合理的配慮の実現
- ・職員対応等の接遇向上によるソフト施策の充実
- ・バリアフリー情報の内容の充実及び発信強化

ハード整備のバリアフリーの推進

- ・関係機関等の連携による面的、一体的なバリアフリーの推進
- ・地域間を結ぶバリアフリールートの確保

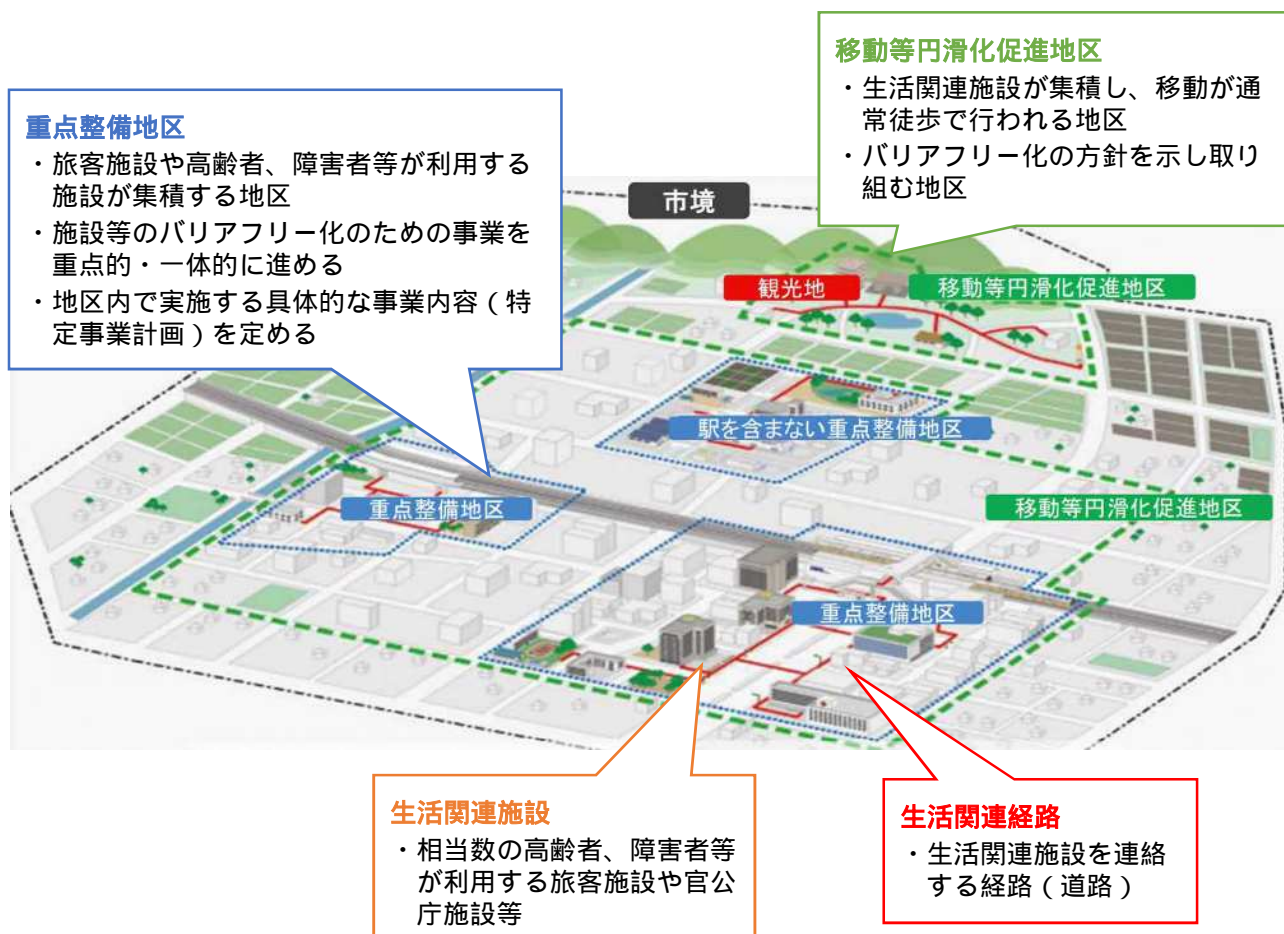
当事者参画の視点

2．地区設定の考え方

(1) 基本構想等で定める事項

本基本構想等では、バリアフリー法等に基づき、以下の事項を定めます。

各項目の内容及び関係は以下のとおりです。



マスタープラン・バリアフリー基本構想のイメージ図

出典：移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン

(2) 移動等円滑化促進地区

移動等円滑化促進地区の要件は、バリアフリー法第2条第23項において、次のように定められています。

[移動等円滑化促進地区の要件]

- 生活関連施設の所在地を含み、かつ、生活関連施設相互間の移動が通常徒歩で行われる地区であること。
- 生活関連施設及び生活関連経路を構成する一般交通用施設について移動等円滑化を促進することが特に必要であると認められる地区であること。
- 当該地区において移動等円滑化を促進することが総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切であると認められる地区であること。

墨田区は、都心部に位置し、鉄道が8路線13駅位置しているほか、路線バス、コミュニティバスの公共交通網も充実しており、区内の概ね全域が公共交通利用圏域に位置しています。

また、幹線道路等、広域道路ネットワークも整備されています。

区では、こうした状況を踏まえるとともに、移動等円滑化促進地区の要件に鑑み、区内全体の移動等円滑化を面的・一体的に進める必要があることから、**区全域を移動等円滑化促進地区に設定**します。



(3) 重点整備地区

重点整備地区選定の考え方

重点整備地区の要件は、バリアフリー法第2条第24項において、次のように定められています。
この定義に沿って評価項目を設定し、地区別の状況を整理します。

[重点整備地区の要件]

- 生活関連施設の所在地を含み、かつ、生活関連施設相互間の移動が通常徒歩で行われる地区であること。
- 生活関連施設及び生活関連経路を構成する一般交通用施設について移動等円滑化のための事業が実施されることが特に必要であると認められる地区であること。
- 当該地区において移動等円滑化のための事業を重点的かつ一体的に実施することが、総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切であると認められる地区であること。

地区の設定方法

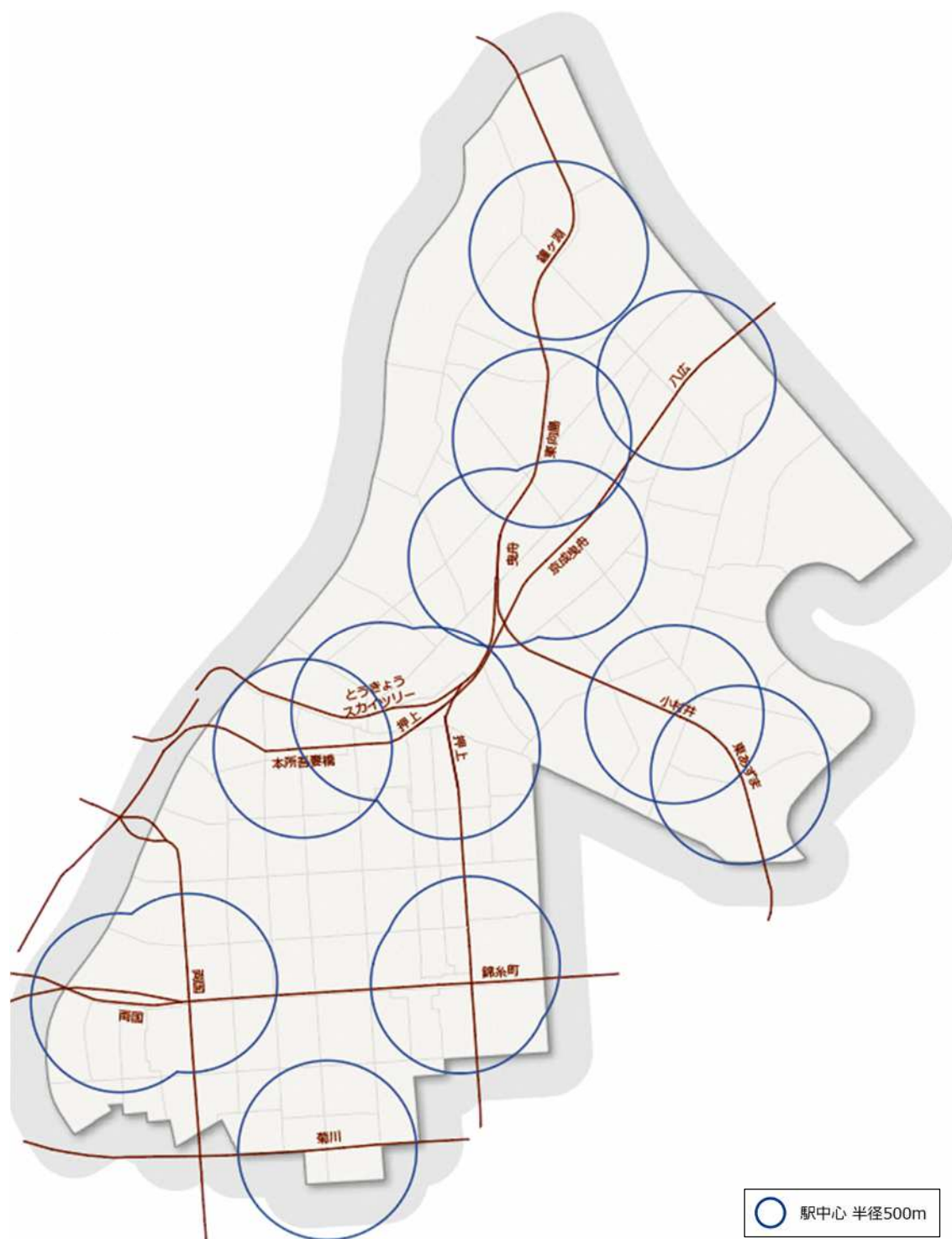
「移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン」を参考に鉄道駅を中心とした半径 500m の範囲を検討対象地区に設定すると、以下のとおりとなります。一部の鉄道駅については、駅間を考慮し、一体的に検討を進める地区として設定し、半径 500m を越えた位置にある生活関連施設については、施設利用者の特性等を考慮した上で、地区の評価に含めていきます。

また、区民の日常生活を勘案すると、隣接区の駅も多く利用していることが考えられますが、区単位での基本構想等の策定であることから、区内の駅のみを対象としています。

地区	対象駅	鉄道事業者	路線等
1	両国駅周辺	JR 東日本	総武線
		都営地下鉄	大江戸線
2	錦糸町駅周辺	JR 東日本	総武線
		東京メトロ	半蔵門線
3	本所吾妻橋駅周辺	都営地下鉄	浅草線
4	押上駅	都営地下鉄	浅草線
		京成電鉄	押上線
		東京メトロ	半蔵門線
		東武鉄道	伊勢崎線
	とうきょうスカイツリー駅	東武鉄道	伊勢崎線
5	菊川駅周辺	都営地下鉄	新宿線
6	京成曳舟駅	京成電鉄	押上線
	曳舟駅	東武鉄道	伊勢崎線
		東武鉄道	亀戸線
7	八広駅周辺	京成電鉄	押上線
8	東向島駅周辺	東武鉄道	伊勢崎線
9	鐘ヶ淵駅周辺	東武鉄道	伊勢崎線
10	小村井駅周辺	東武鉄道	亀戸線
11	東あずま駅周辺	東武鉄道	亀戸線

墨田区交通バリアフリー基本構想（H16）では、9地区に設定（本所吾妻橋・押上・業平橋、小村井・東あずまで一体）

【検討対象地区の位置】



地区の評価項目の内容・設定条件

各地区に対して、下表のとおり評価項目を設定します。

項目	項目	評価方法
配置要件	駅別乗降者数が多い	1 日当たり駅別乗降者数〔人/日〕 出典：東京都統計年鑑（令和 4 年度）
	バス運行本数が多い	駅周辺に位置するバス停に停車するバス運行本数 （平日）〔本〕 出典：各バス事業者 HP より作成
	主要な施設数が多い	生活関連施設の候補となる主要施設数〔件〕 駅中心半径 500m の範囲に位置する施設を対象 出典：墨田区 HP、各施設 HP 等より作成
課題要件	施設等に関する満足度が低い	各施設に対する満足度〔％〕 -1 駅の利用のしやすさ及び駅周辺の歩行者空間から駅構内への移動に対する評価「とても利用・移動しやすい」「利用・移動しやすい」等と回答した割合 -2 区立公園の利用のしやすさに対する評価「とても利用しやすい」「利用しやすい」と回答した割合 -3 公共施設の利用のしやすさに対する評価「便利（利用しやすい）」と回答した割合 出典：区民アンケート調査結果
効果要件	高齢者人口割合が高い	高齢者（65 歳以上）人口 / 対象町丁目の総人口〔％〕 駅中心半径 500m の範囲に大部分が位置している町丁目を対象 出典：墨田区 HP 町丁別年齢別人口（令和 6 年 4 月時点）
	乳幼児人口割合が高い	乳幼児（3 歳以下）人口 / 対象町丁目の総人口〔％〕 駅中心半径 500m の範囲に大部分が位置している町丁目を対象 出典：墨田区 HP 町丁別年齢別人口（令和 6 年 4 月時点）
	障害者人口割合が高い	障害者人口（障害者手帳所持者数） / 対象町丁目の総人口〔％〕 駅中心半径 500m の範囲に大部分が位置している町丁目を対象 出典：墨田区資料
	まちづくりの動きがある	再開発事業・道路整備等の基盤整備事業が計画・予定されている まちづくり方針の策定・検討や、住民や地域等と連携したまちづくりの動きなどがある 出典：墨田区資料

地区別評価一覧表

		両国駅周辺	錦糸町駅周辺	本所吾妻橋駅周辺	押上駅周辺	菊川駅周辺	曳舟駅周辺	八広駅周辺	東向島駅周辺	鐘ヶ淵駅周辺	小村井駅周辺	東あずま駅周辺
配置要件	駅別乗降者人/日	91,000 人	267,189 人	17,553 人	644,014 人	21,162 人	43,701 人	12,123 人	16,860 人	11,608 人	10,225 人	7,227 人
	バス運行本数本/日	357 本	1,237 本	731 本	1,348 本	250 本	98 本	213 本	84 本	38 本	134 本	50 本
	主要施設数	20	22	22	30	5	33	9	21	11	24	16
課題要件（満足度）	駅・駅周辺の歩行空間 (区平均 48%)	56%	48%	31%	43%	50%	57%	65%	51%	49%	24%	30%
	区立公園 (区平均 64%)	58%	49%	58%	59%	67%	68%	41%	17%	25%	25%	25%
	公共施設 (区平均 62%)	64%	84%	56%	60%	33%	73%	67%	72%	43%	71%	50%
効果要件	高齢者人口割合 (区平均 20.9%)	15.0% (4,501 人)	17.4% (4,187 人)	20.8% (4,493 人)	21.3% (9,877 人)	15.4% (2,616 人)	23.7% (11,747 人)	23.5% (6,579 人)	23.3% (8,294 人)	30.9% (6,052 人)	26.5% (9,286 人)	25.6% (6,098 人)
	乳幼児人口割合 (区平均 2.6%)	2.6% (791 人)	2.4% (580 人)	2.5% (549 人)	2.5% (1,168 人)	2.7% (454 人)	2.7% (1,331 人)	2.6% (724 人)	2.6% (924 人)	2.1% (407 人)	2.5% (882 人)	2.6% (627 人)
	障害者人口割合 (区平均 3.7%)	1.6% (488 人)	2.2% (523 人)	2.9% (634 人)	3.3% (1,514 人)	1.9% (316 人)	3.0% (1,498 人)	2.7% (745 人)	2.6% (936 人)	3.9% (759 人)	3.3% (1,150 人)	3.0% (713 人)
地区別の状況		●両国国技館、すみだ北斎美術館、江戸東京博物館などの文化観光施設が立地 ●区域内に両国子育てひろば、同愛高齢者支援総合センターが立地 ●区域外に近接してみどり高齢者支援総合センターが立地	●駅乗降者数、バス運行本数が多い ●都の地域災害拠点中核病院である墨東病院が立地し、押上駅周辺地区との間にすみだ保健子育て総合センターや賛育会病院が立地 ●商業施設が複数立地するほか、ハローワーク墨田やすみだ障害者就労支援センターが立地 ●地下鉄 8 号線の延伸（豊洲～住吉間）が予定	●東京スカイツリーと浅草を結ぶ導線上にあり、墨田区役所が立地 ●駅・駅周辺の歩行空間のバリアフリーに対する満足度が低い	●駅乗降者数、バス運行本数が多い ●大規模商業施設やすみだ共生社会推進センターや墨田都税事務所等が立地 ●すみだ福祉保健センター等の福祉施設が立地し、錦糸町駅周辺地区との間にすみだ保健子育て総合センターや賛育会病院が立地 ●東武鉄道伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）連続立体交差事業とその周辺における街路整備事業を実施	●江東区との区境に位置 ●公共施設のバリアフリーに対する満足度が低い	●商業施設が立地するほか、災害拠点病院である東京曳舟病院が立地 ●済生会向島病院や中村病院、むこうじま高齢者支援総合センターが立地 ●各施設の満足度は高い ●交通バリアフリー基本構想の重点整備地区で、道路特定事業は一定程度完了しているほか、音響式信号機が多く設置	●八広はなみずき高齢者支援総合センターが立地 ●駅・駅周辺の歩行空間、公共施設のバリアフリーに対する満足度は高いが、区立公園のバリアフリーに対する満足度は低い	●南部に保健医療福祉施設や教育・文化施設が立地し、北部に公園が複数立地 ●区立公園のバリアフリーに対する満足度は低い	●区域内に東京都リハビリテーション病院や白鬚東防災拠点が立地 ●高齢者人口の割合が高く、区立公園や公共施設のバリアフリーに対する満足度は低い	●区域内に小学校 4 校、中学校 2 校、大学 2 校、区域外に近接して高等学校が立地 ●駅・駅周辺の歩行空間、区立公園のバリアフリーに対する満足度は低い	●江戸川区・江東区との区境に位置している。小村井駅周辺地区と範囲が大きく重なる ●賛育会病院と特別養護老人ホームの建設予定がある ●駅・駅周辺の歩行空間、区立公園、公共施設のバリアフリーに対する満足度は低い

課題要件における区平均より 1 0 % 低い場合は数値を赤字で表記している。

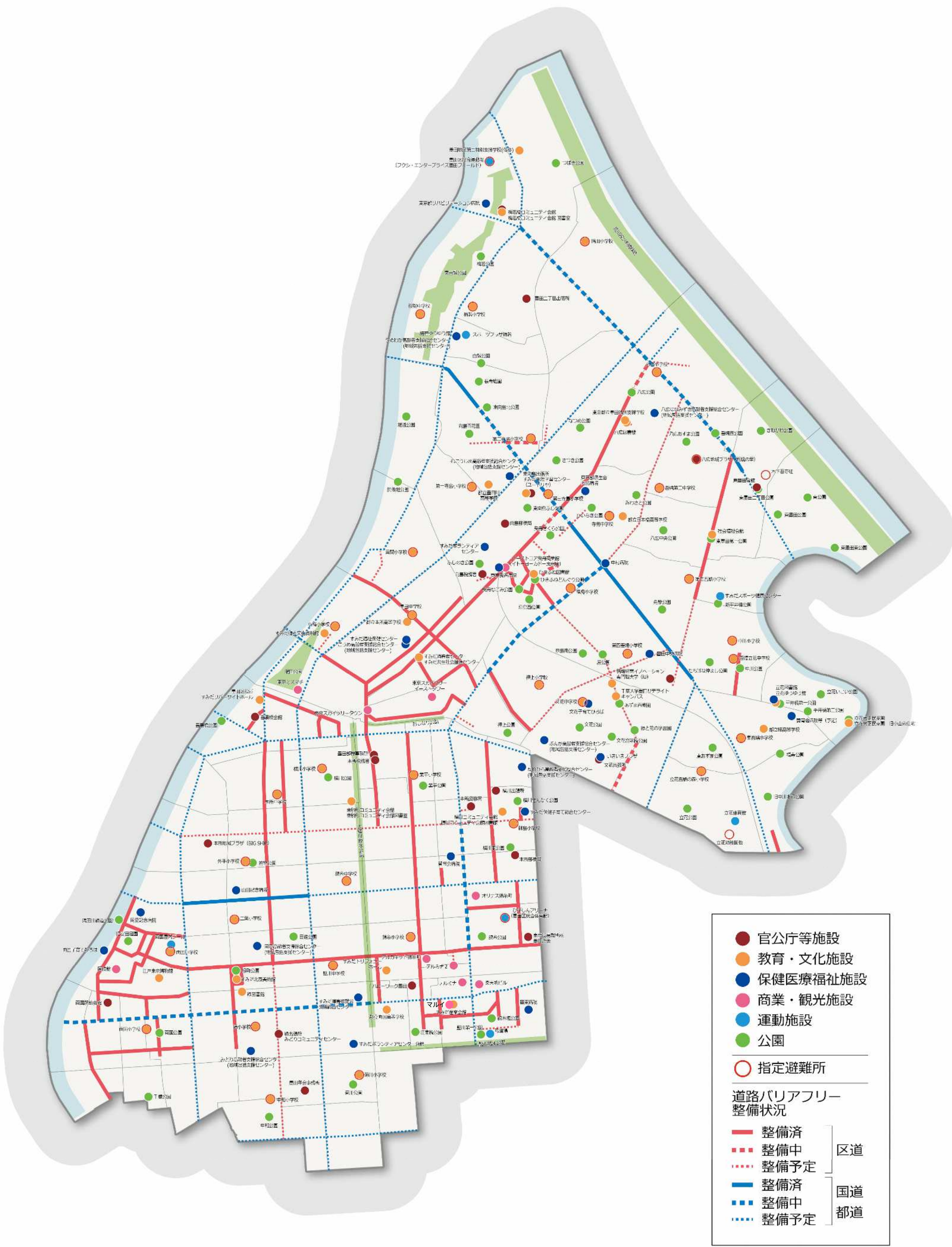
効果要件の各人口について、人数が多い地区の上位 3 地区を赤字で示している。

まちづくりの動きについては、各地区の状況の下部に表記している。

全体図

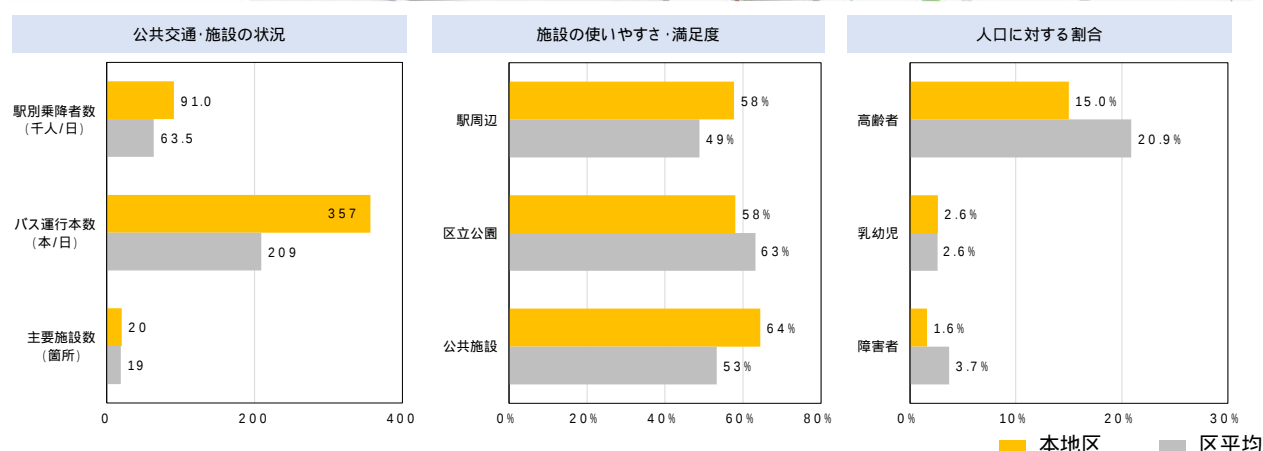


全体図（道路バリアフリー整備状況図）



各地区の状況

【両国駅周辺地区】



まちづくりの動き

- ・隅田川沿川地区 (蔵前橋～駒形橋周辺) まちづくり方針 (地図上部の囲み箇所)
- ・隅田川沿川蔵前橋周辺地区計画 (地図上部の囲み箇所) 大規模開発事業予定 R7.2～R10.3 (予定)
- ・両国駅北口地区地区計画 (地図中心の囲み箇所)
- ・亀沢地区地区計画 (地図右側上部の囲み箇所)
- ・緑二・三丁目地区地区計画 (地図右側下部の囲み箇所)

ハード面の課題として多く挙げられている内容 (アンケート結果)

住まい周辺の歩道: 「歩道の幅員や勾配」, 「歩道と道路の段差や勾配」, 「路面の凹凸や滑りやすさ」

駅周辺の歩行空間: 「歩道の幅員や勾配」, 「路面の凹凸や滑りやすさ」, 「歩道がない」, 「歩道と道路の段差や勾配」

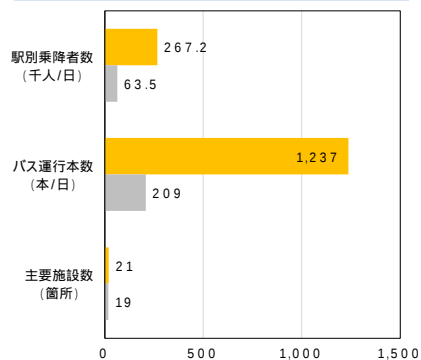
駅構内: 「エレベーターの整備」, 「エスカレーターの整備」, 「ホームドアの整備」

アンケートの自由記述では、JR 両国駅前の歩道の幅員の狭さ及びガードレール設置に関する意見や緑図書館周辺の歩道の狭さ及び自転車置き場のスペースに関する意見がある。(参考資料1 P26,P56)

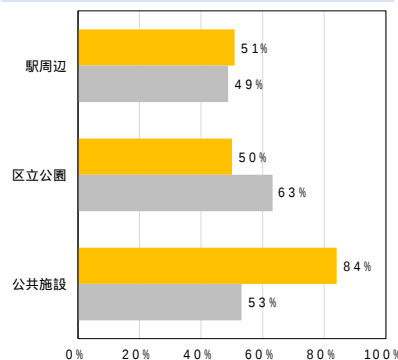
【錦糸町駅周辺地区】



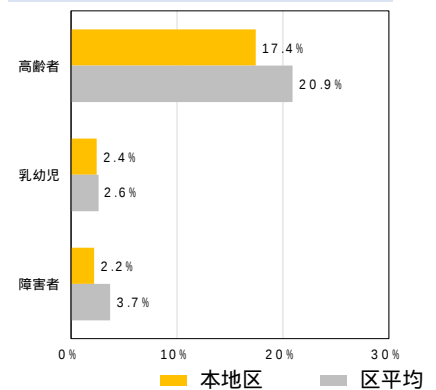
公共交通・施設の状況



施設の使いやすさ・満足度



人口に対する割合



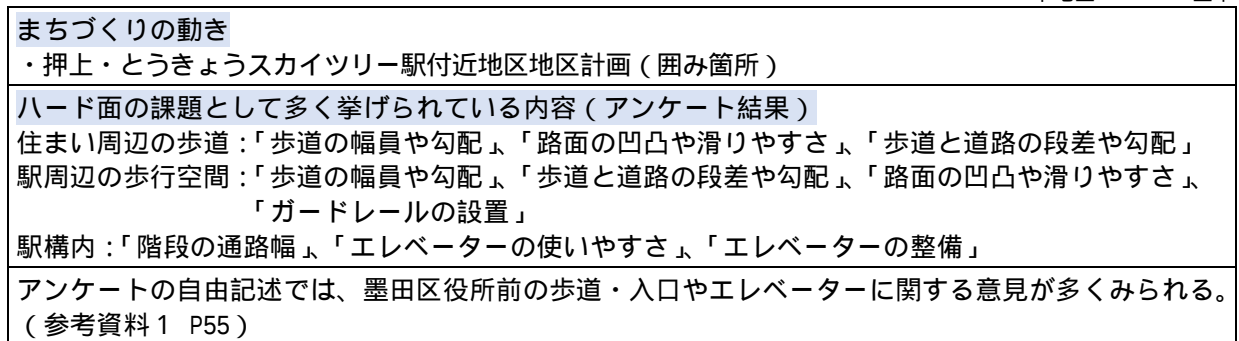
まちづくりの動き

・錦糸公園周辺地区地区計画 (囲み箇所)

ハード面の課題として多く挙げられている内容 (アンケート結果)

住まい周辺の歩道: 「歩道の幅員や勾配」, 「路面の凹凸や滑りやすさ」, 「歩道と道路の段差や勾配」
 駅周辺の歩行空間: 「路面の凹凸や滑りやすさ」, 「歩道の幅員や勾配」, 「歩道と道路の段差や勾配」
 駅構内: 「ホームと列車のすき間」, 「ホームドアの整備」, 「エレベーターの整備」

アンケートの自由記述では、錦糸町駅及び各施設周辺の歩道の狭さについての意見が多くみられる。
 (参考資料 1 P7~P8, P26)

[illegible]



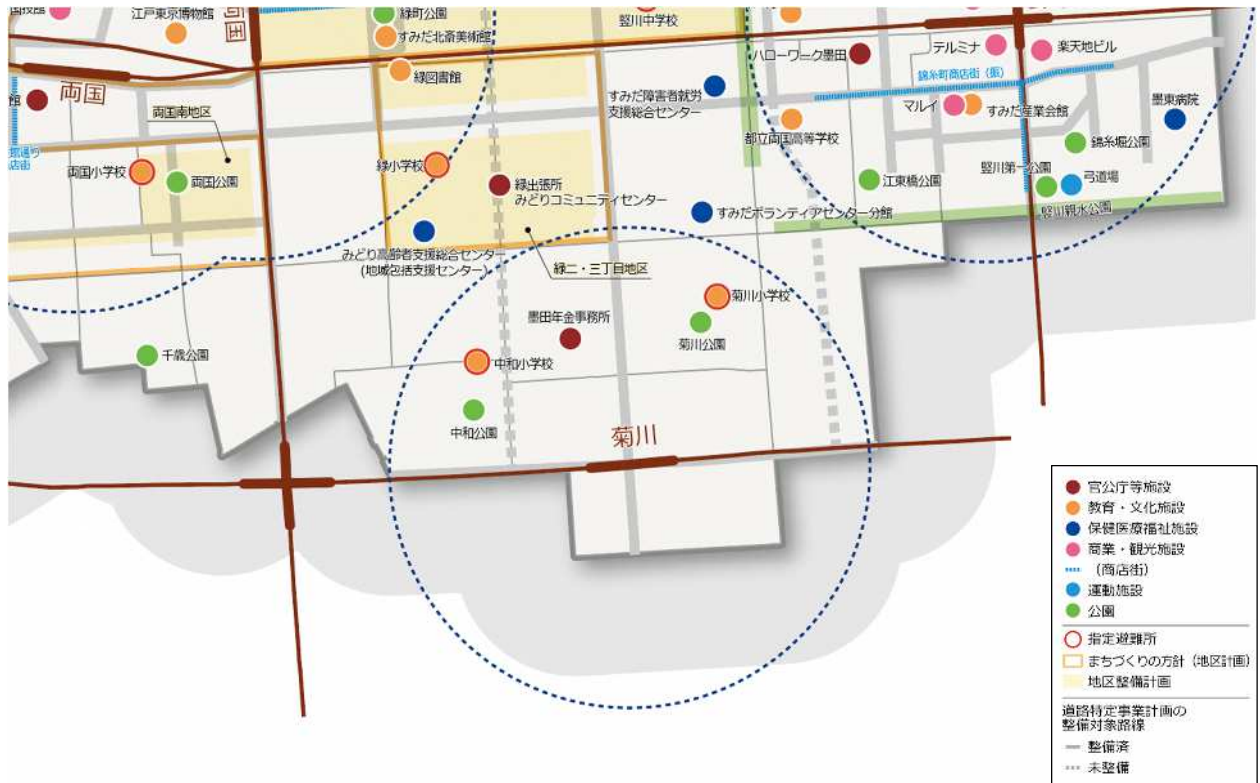
- ・押上・とうきょうスカイツリー駅付近地区地区計画（囲み箇所）
- ・東武鉄道伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）連続立体交差事業（黄色点線箇所）
（計画期間：平成 29 年度～令和 10 年度）
- ・とうきょうスカイツリー駅周辺関連街路整備事業
- ・墨田区画街路第 12 号線整備事業

住まい周辺の歩道：「歩道の幅員や勾配」、「路面の凹凸や滑りやすさ」、「歩道と道路の段差や勾配」
駅周辺の歩行空間：「歩道の幅員や勾配」、「路面の凹凸や滑りやすさ」、「案内標識、案内看板がない、
わかりにくい」

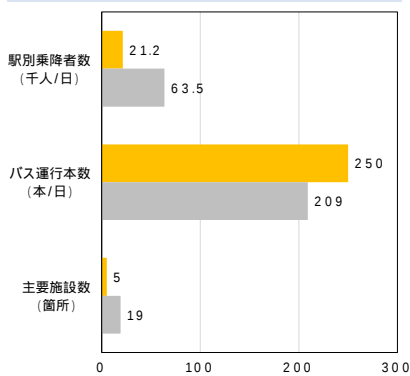
アンケートの自由記述では、東京スカイツリー周辺の歩道に関する意見が多くみられる。
(参考資料1 P10,P27)

13

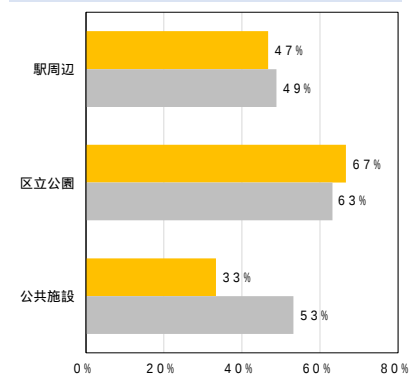
【菊川駅周辺地区】



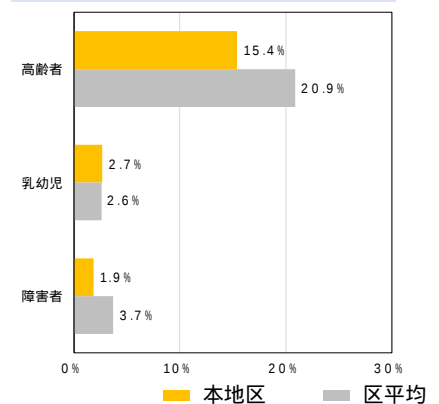
公共交通・施設の状況



施設の使いやすさ・満足度



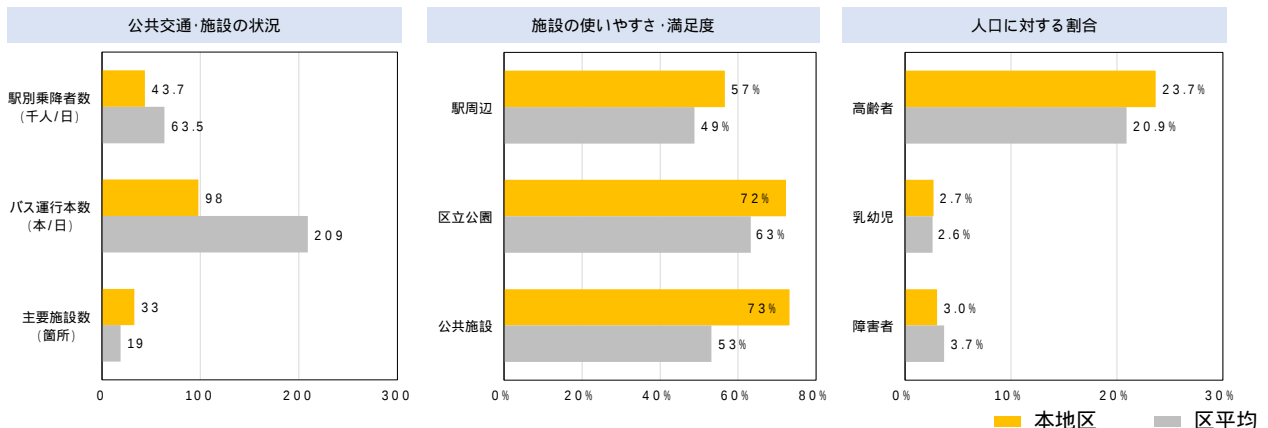
人口に対する割合



ハード面の課題として多く挙げられている内容 (アンケート結果)

住まい周辺の歩道: 「歩道と道路の段差や勾配」, 「歩道の幅員や勾配」, 「歩道と建物の段差や勾配」
 駅周辺の歩行空間: 「歩道の幅員や勾配」, 「路面の凹凸や滑りやすさ」, 「歩道がない」
 駅構内: 「エスカレーターの整備」, 「エレベーターの整備」, 「エレベーターの使いやすさ」

【曳舟駅周辺地区】



まちづくりの動き

- ・曳舟駅周辺地区地区計画（京成曳舟駅周辺の囲み箇所）
- ・東武曳舟駅周辺地区まちづくり方針策定中（東武曳舟駅周辺の囲み箇所）
- ・木密不燃化プロジェクト【京島周辺地区】（～R8.3） ・京成曳舟駅周辺道路整備事業（墨田区画街路第6号線及び第7号線）（～R8.3） ・北部中央地区密集事業（～R7年度）
- ・東向島二丁目22番地区防災街区整備事業（～R8年度） ・京島二・三丁目地区のまちづくり

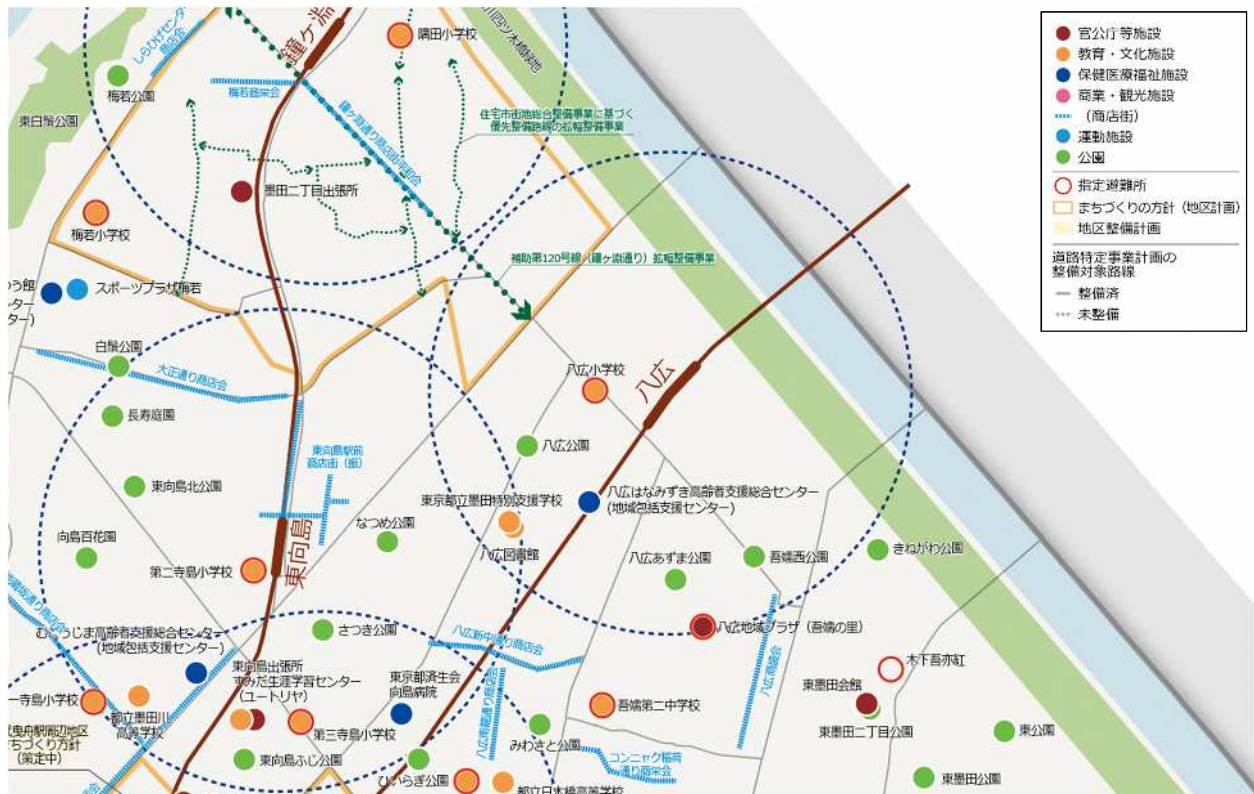
ハード面の課題として多く挙げられている内容（アンケート結果）

住まい周辺の歩道：「歩道の幅員や勾配」、「歩道と道路の段差や勾配」、「路面の凹凸や滑りやすさ」
 駅周辺の歩行空間：「歩道の幅員や勾配」、「路面の凹凸や滑りやすさ」、「歩道がない」
 駅構内：「ホームドアの整備」、「ホームと通路幅」、「エレベーターの整備」、「エスカレーターの整備」

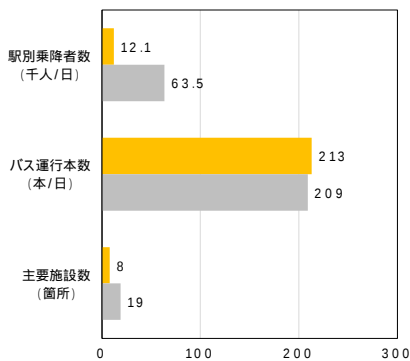
アンケートの自由記述では、駅周辺の歩道に関する意見やひきふね図書館内の移動に関する意見が多くみられる。（参考資料1 P28）

P7の効果要件のとおり高齢者、乳幼児、障害者の人口が他地区より多い。

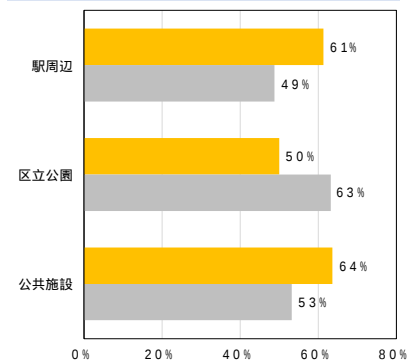
【八広駅周辺地区】



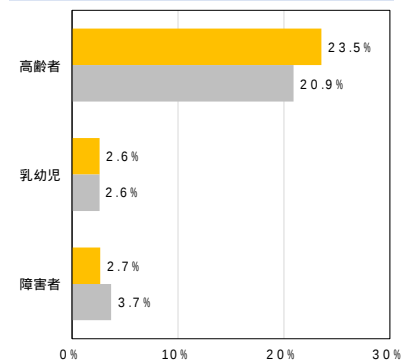
公共交通・施設の状況



施設の使いやすさ・満足度



人口に対する割合



■ 本地区 ■ 区平均

ハード面の課題として多く挙げられている内容（アンケート結果）

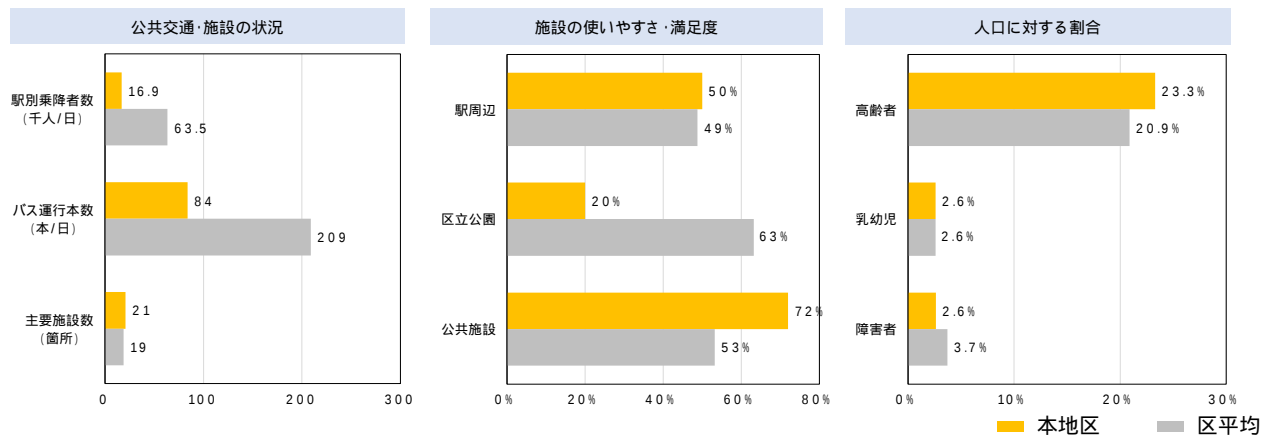
住まい周辺の歩道：「歩道の幅員や勾配」、「歩道がない」、「歩道と道路の段差や勾配」、「路面の凹凸や滑りやすさ」

駅周辺の歩行空間：「歩道と建物の段差や勾配」、「歩道の幅員や勾配」、「歩道がない」、「路面の凹凸や滑りやすさ」、「歩道と道路の段差や勾配」

駅構内：「ホームドアの整備」、「改札口の幅」、「ホームと列車のすき間」

アンケートの自由記述では、八広図書館周辺の歩道の段差について意見がみられる。（参考資料1 P56）

【東向島駅周辺地区】



ハード面の課題として多く挙げられている内容（アンケート結果）

住まい周辺の歩道：「歩道の幅員や勾配」、「路面の凹凸や滑りやすさ」、「歩道がない」

他地区と比べて「横断歩道上の誘導ブロックの整備」の割合が多い。

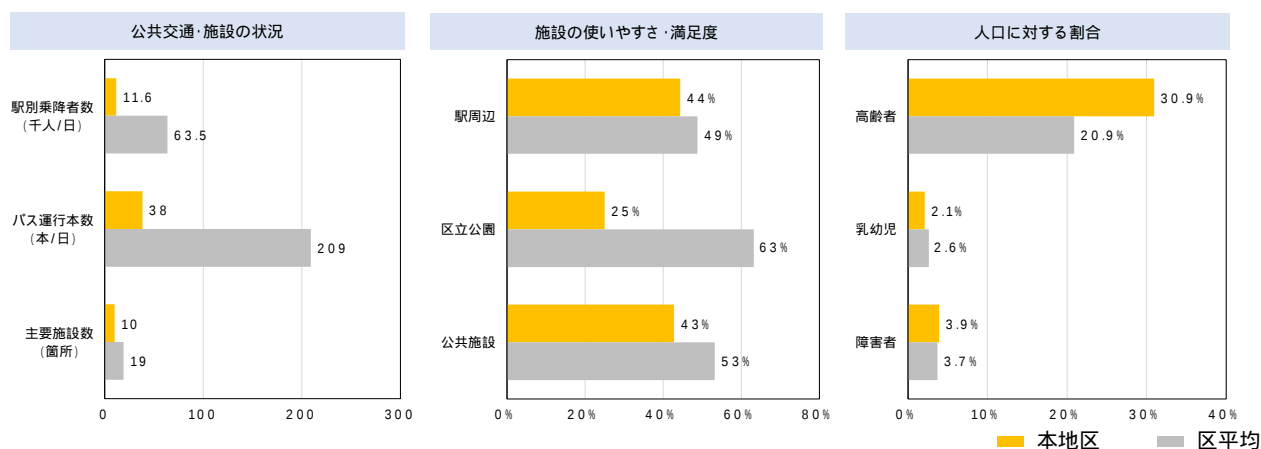
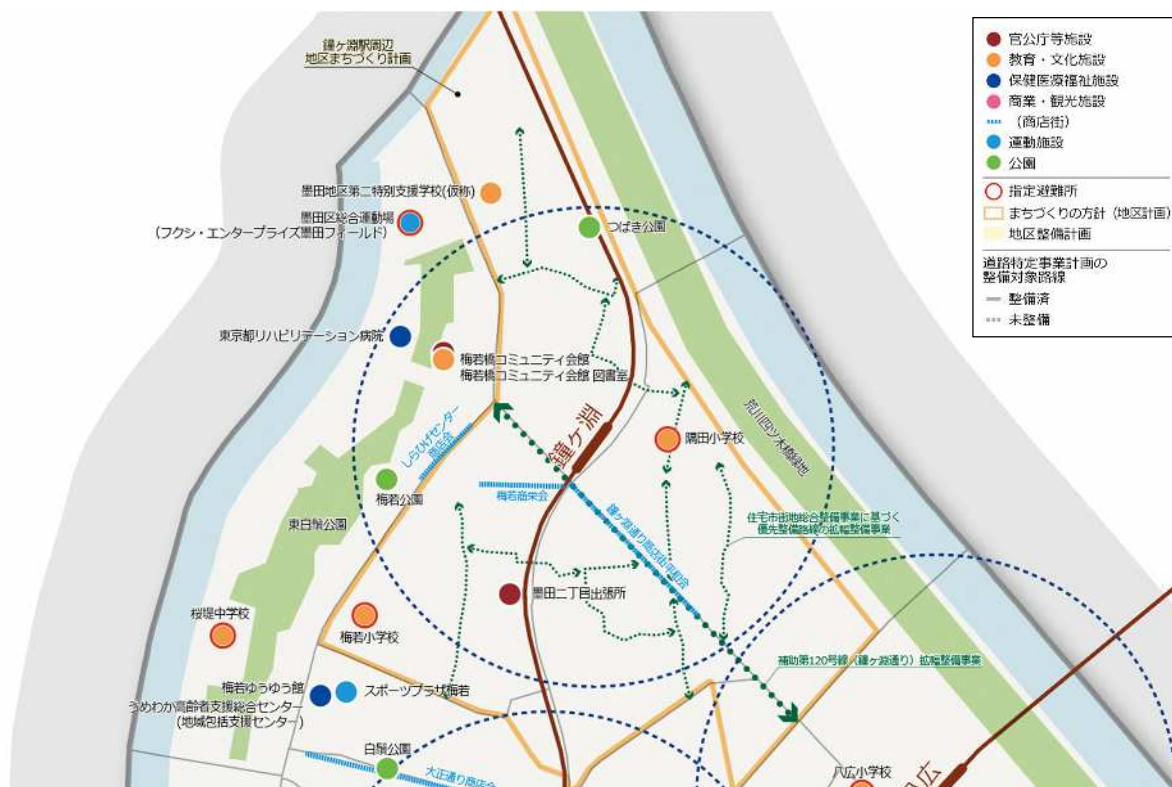
駅周辺の歩行空間：「歩道の幅員や勾配」、「路面の凹凸や滑りやすさ」、「歩道がない」

駅構内：「エレベーターの使いやすさ」、「改札口の幅」、「ホームの通路幅」

アンケートの自由記述では、東向島駅前の歩道に関する意見がみられる。（参考資料 1 P28）

P7の効果要件のとおり乳幼児の人口が他地区より多い。

【鐘ヶ淵駅周辺地区】



まちづくりの動き

- ・木密不燃化プロジェクト【鐘ヶ淵周辺地区】（～R7 年度）
- ・鐘ヶ淵地区まちづくり計画（囲み箇所）（R7 年度改定予定）
- ・住宅市街地総合整備事業に基づく優先整備路線の拡幅整備事業（青線）
- ・補助第 120 号線（鐘ヶ淵通り）の拡幅整備事業（ 期区間用地取得率 100% 期区間用地取得率約 7 割）（青点線）

ハード面の課題として多く挙げられている内容（アンケート結果）

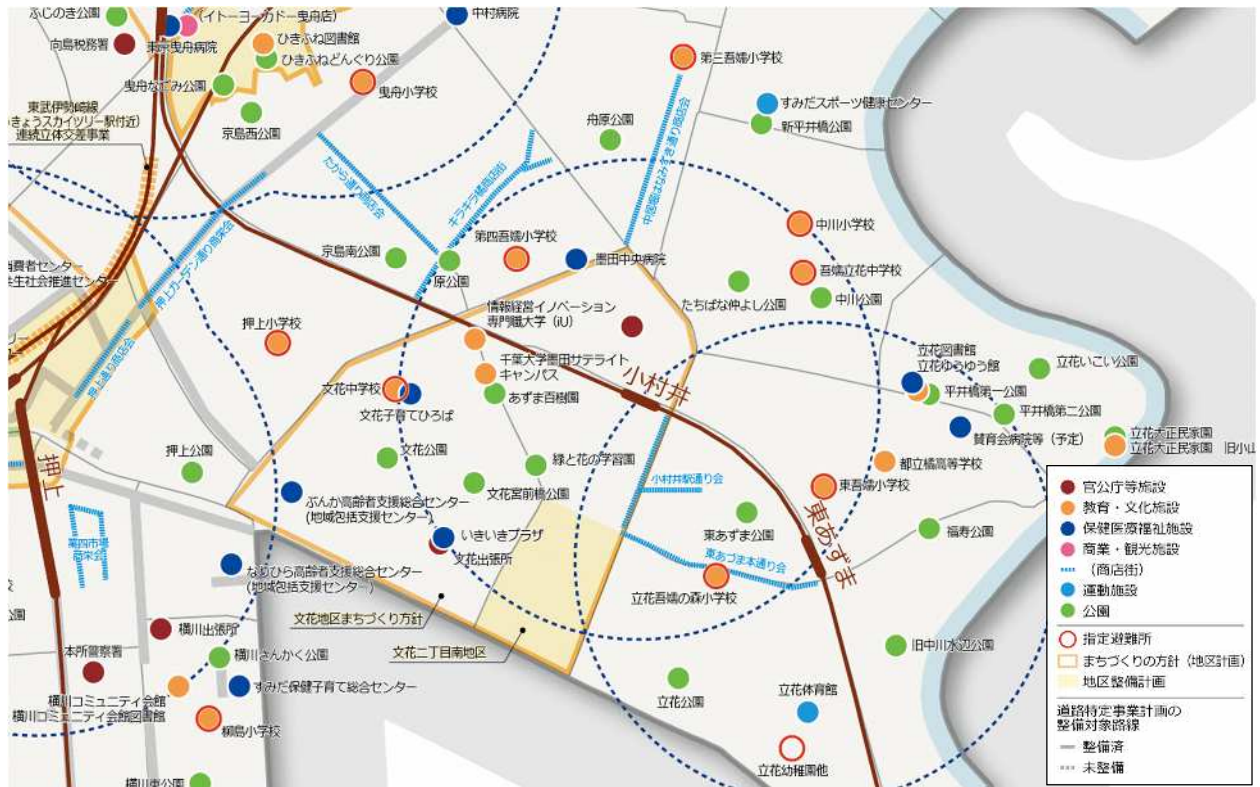
住まい周辺の歩道：「路面の凹凸や滑りやすさ」、「歩道と道路の段差や勾配」、「歩道の幅員や勾配」
他地区と比べて「ガードレールの設置」の割合が多い。

駅周辺の歩行空間：「路面の凹凸や滑りやすさ」、「歩道の幅員や勾配」、「歩道がない」

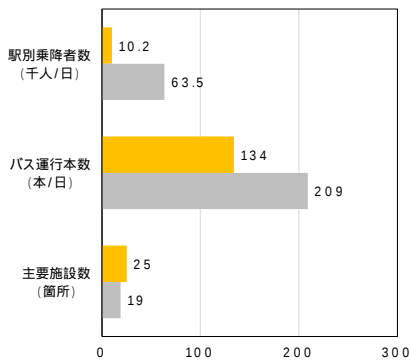
駅構内：「ホームと列車のすき間」、「駅構内の通路幅」、「改札口の幅」、「ホームドアの整備」、「券売機の使いやすさ」

アンケートの自由記述では、鐘ヶ淵通りの歩道や踏切に関する意見がみられる。(参考資料1 P28)

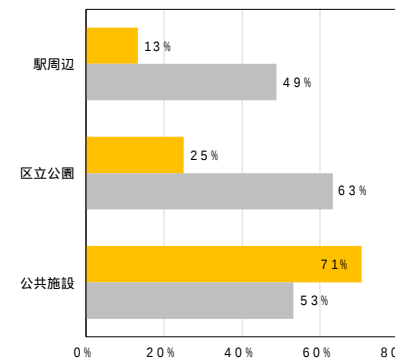
【小村井駅周辺地区】



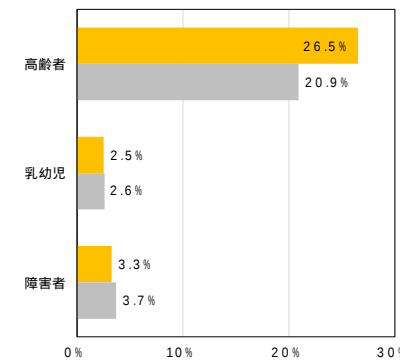
公共交通・施設の状況



施設の使いやすさ・満足度



人口に対する割合



■ 本地区 ■ 区平均

まちづくりの動き

- ・文花地区まちづくり方針 (黄色線囲み箇所)
- ・都営住宅の一部建替え ・文花保育園の移転 (R11 年度運用開始予定) ・緑と花の学習園あり方検討 (R6 ~)
- ・あずま百樹園再整備工事 (~R7.2) ・文花二丁目南地区地区計画 (黄色箇所)
- ・大学のあるまちづくり (包括協定) ・京島二・三丁目地区のまちづくり

ハード面の課題として多く挙げられている内容 (アンケート結果)

住まい周辺の歩道: 「歩道の幅員や勾配」、「歩道がない」、「路面の凹凸や滑りやすさ」、「歩道と道路の段差や勾配」、「音響式信号機の整備」

駅周辺の歩行空間: 「歩道の幅員や勾配」、「歩道がない」、「路面の凹凸や滑りやすさ」

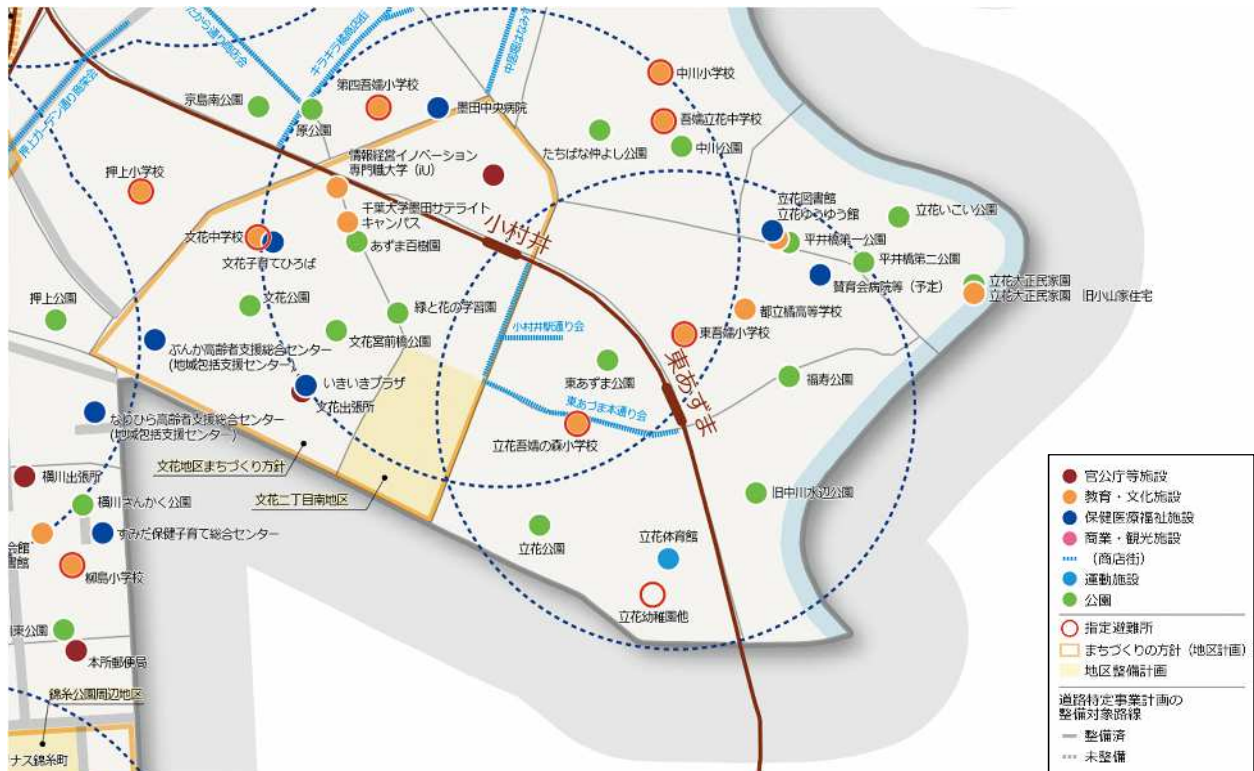
駅構内: 「ホームの通路幅」、「乗り換え案内表示」、「エレベーターの整備」

アンケートの自由記述では、踏切や北十間川沿いの歩道に関する意見が見られる。

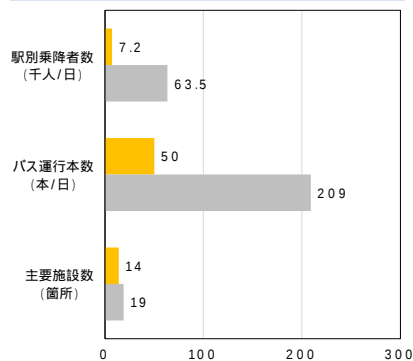
(参考資料 1 P8,29)

P7の効果要件のとおり高齢者、障害者の人口が他地区より多い。

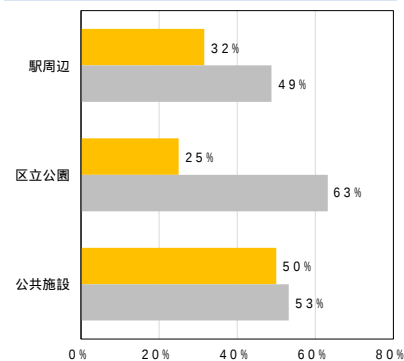
【東あずま駅周辺地区】



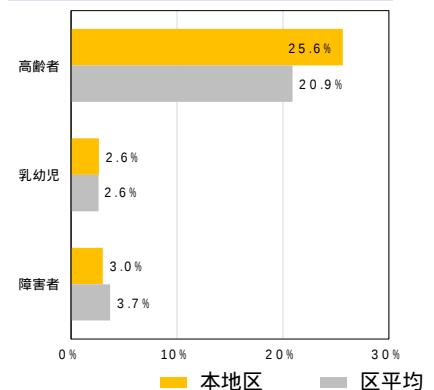
公共交通・施設の状況



施設の使いやすさ・満足度



人口に対する割合



まちづくりの動き

・東あずま公園再整備基本設計

ハード面の課題として多く挙げられている内容（アンケート結果）

住まい周辺の歩道：「歩道の幅員や勾配」、「歩道がない」、「路面の凹凸や滑りやすさ」、「ガードレールの設置」

駅周辺の歩行空間：「歩道の幅員や勾配」、「歩道がない」、「歩道と建物の段差や勾配」、「案内標識、案内看板がない、わかりにくい」

駅構内：「駅構内の通路幅」、「ホームの通路幅」、「ホームと列車のすき間」

重点整備地区として想定される候補地区

●押上駅・錦糸町駅周辺地区

【押上駅周辺地区】

- ・大規模商業施設やすみだ共生社会推進センターや墨田都税事務所等のほか、すみだ福祉保健センター等の福祉施設が立地しているため、駅等からの移動経路等のバリアフリー化が必要である。
- ・東武鉄道伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）連続立体交差事業とその周辺における街路整備事業が実施されており、各事業と連携しながらバリアフリー化を進める必要がある。
- ・P7の効果要件のとおり高齢者、乳幼児、障害者の人口が他地区より多い。

【錦糸町駅周辺地区】

- ・商業施設が複数立地し、ハローワーク墨田やすみだ障害者就労支援センターのほか、都の地域災害拠点中核病院である墨東病院が立地しているため、駅等からの移動経路等のバリアフリー化が必要である。
- ・地下鉄8号線の延伸（豊洲～住吉間）による来街者の増加が予想される。

【両駅共通事項】

- ・駅乗降者数及びバス運行本数が他地区より多いことやアンケートで駅周辺等の歩道に関する意見が多いことから、連続したバリアフリー整備の効果が高いと考えられる。
- ・両駅周辺地区の間にすみだ保健子育て総合センター及び賛育会病院が立地しており、両駅からのアクセス経路におけるバリアフリー化が必要である。

●曳舟駅周辺地区

- ・公共施設や病院、指定避難場所である学校が複数立地しており、駅等からの移動経路等のバリアフリー化が必要である。
- ・東武曳舟駅周辺地区まちづくり方針の策定を進めており、各事業と連携しながらバリアフリー化を進める必要がある。
- ・墨田区交通バリアフリー基本構想（H16）で重点整備地区と定めており、今後はバリアフリー新法に基づく連続したバリアフリー化が必要である。
- ・P7の効果要件のとおり高齢者、乳幼児、障害者の人口が他地区より多い。

